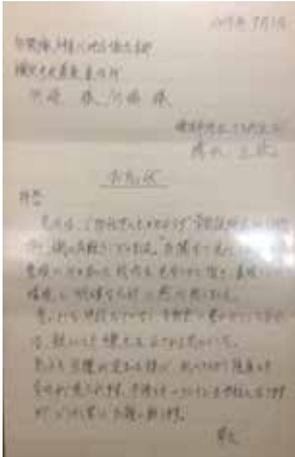


## 第1 志望は高等工科学校 受験対象者と父親からの手紙



届いた手紙

神奈川地方協力本部横浜中央募集案内所（所長 竹崎一陸尉）に、8月6日（水）に高等工科学校で行われた説明会に参加した父子から、お礼の手紙が届いた。

手紙には、「高工校の受験に迷っていましたが、今ではもう迷いはなくなり第1志望です。」という受験生の言葉と、父親は、「百聞は一見にしかず、整頓の行き届いた校内を見学させていただき、素晴らしい環境と明確な方針に感心しました。夢のような施設だけではなく、各教室に書かれていた訓示は、親としても襟元を正される思いでした。息子も目標が定まったようで、机に向かう態度にも変化が見られます。今後、いろいろなとお世話になります。どうかよろしく願います」という言葉が記された。

横浜中央募集案内所は、「今後も自衛官を目指す若者や、その家族に対し自衛隊を正しく理解して頂き、進路の参考にしてもらう」としている。

## 「横浜防災フェア2014」で災害派遣能力をPR



ブースの様子

第31普通科連隊の  
偵察用オートバイ

神奈川地方協力本部は、「災害派遣活動や災害用装備品等を広くPRし、自衛隊への理解と協力を求めていく」としている。

第31普通科連隊の  
小型トラック

神奈川地方協力本部（本部長 高田 充一海佐）は、8月23日（土）及び24日（日）、赤レンガ倉庫広場（横浜市中区）において開催された「横浜防災フェア2014」（共催 横浜市・ラジオ日本）に、ブースを開設し、災害派遣活動をPRした。

ブースには、昨年10月の伊豆大島台風被害に伴う災害派遣活動の写真パネル及び非常用糧食（缶づめ）が展示され、また、第31普通科連隊の高機動車、小型トラック（パジェロタイプ）及び偵察用オートバイが大勢の来訪者の目を引いていた。

## これが日本を守る力 募集対象者総合火力演習を見学



10式戦車の射撃に耳をふさぐ観衆

神奈川地方協力本部川崎出張所（所長 荒木三陸佐）は、8月24日（木）、募集対象者に対して、東富士演習場で実施された「富士総合火力演習（予行）」の研修を実施した。

当日は、晴れ間の覗く曇り空で、気温は20度前後と絶好の研修日和となり、約2万9千人の観客が訪れた。

演習には、人員2,300名、戦車・装甲車80両、火炮60門、航空機20機、その他車両600両が参加したが、その壮大な演習の規模と戦車・装甲車の機動力や火炮の命中精度に参加者は終始圧倒されていた。また、離島防衛を再現した後段の演習では、実際に起こりうる事態を想定していると感じているためか、真剣な眼差しで見学していた。

演習終了後、参加者からは「凄かった。もの凄いの一言です」と興奮冷めやらぬ様子であった。

川崎出張所は、「今後も、様々なイベントを通じ自衛隊の魅力をPRして、募集基盤の拡充に努めていく」としている。